

スクールピックアップ



受賞した小板橋さん(左)と村野博美教諭

小板橋紗耶さんが高校賞受賞 猪苗代高校

千葉商科大学が主催する「サービス創造大賞 2016」の一般課題部門「あったらいいな、こんなサービス」で、猪苗代高校3年の小板橋紗耶さんが高校賞を受賞しました。このコンクールは、今までにない斬新なサービスのアイデアを審査するもので、1,774件の応募の中から小板橋さんの「迷惑メールに対するサービス」が高校賞に選ばれました。小板橋さんは「迷惑メールが届いたときに不安な気持ちになり、思いつきました」と話しました。

悪い鬼をやっつけろ ひまわりこども園

ひまわりこども園では2月3日、節分にちなみ、同園で豆まき会を開きました。

節分に関するクイズでは、鬼が嫌いなイワシやヒイラギについて学び、全員で豆まきの歌を元気に歌いました。

同園のホールで園児たちが豆まきの練習をしていると、鬼に扮した先生が登場。園児たちは大きな声で「鬼は外、福は内」と新聞紙で作った豆をまき、こども園から鬼を退治しました。



元気に豆まきをする園児たち



猪苗代湖北岸で白鳥を観察する児童ら

猪苗代湖で白鳥観察 千里小学校

千里小学校の1年生24人は2月10日、猪苗代湖の北岸で白鳥を観察しました。観察の前に猪苗代湖の自然を守る会代表の鬼多見賢さんが、自宅で見つけた白鳥の生態や猪苗代湖保全に関する取り組みなどを紹介。児童は、自然を守る事の大切さを学びました。その後、児童らは湖岸へ移動し、白鳥が優雅に泳ぐ様子などを観察しました。佐藤匠真さんは「近くで見ると大きくてびっくりしました」と感想を話しました。

お店屋さんごっこをしたよ さくらこども園

さくらこども園は2月15日、同園で「お店屋さんごっこ」を行いました。4～6歳児の各クラスの園児は、カフェやくじ引き、お菓子屋さんなどさまざまな模擬店舗を出店。園児たちは、お店屋さん役とお客さん役を交代しながら、色紙などで作った商品やお金を使って、お店屋さんごっこを楽しみました。会場となった同園のお遊戯室には「いらっしゃいませ」「これをください」などと園児たちの声が響き渡りました。



お店屋さんごっこを楽しむ園児たち

笑顔でこんにちは



大好きなパパとママと一緒にハイ、ポーズ

由真ちゃんの名前には、「大人になっても自分らしく真っすぐに生きてほしい」。そんなパパとママの願いが込められています。

渡部 由真 ちゃん

平成27年5月生まれ
～沼ノ倉
邦祐さん・真央さんご夫妻の長女

生後3ヶ月頃までは、常に抱っこをしていないと大泣きをしていたという由真ちゃん。ママの真央さんはこれからの子育てが心配になったこともあったのですが、その後は人見知りもほとんどすることなく、家族みんなと元気に過ごしています。真央さんは「私だけでなく、家族誰でも一日中過ごすことができるんです」と笑顔で話します。

好きな食べ物や物は和食全般。特に納豆と焼き魚が大好きなんだとか。由真ちゃんは絵本も大好き。取材の日も絵本を指さして「パンダ、ブップ」と上手におしゃべりしていました。

真央さんは「大きくなったら、スキーや登山などを一緒にして、思い出を作りたいです」と由真ちゃんを優しく見つめながら話しました。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。
☎(62)2111

スクールピックアップ



彩橋小の児童と交流を深める藤田さん(中央)

本県と沖縄県との交流を目的に活動する「雪だるま親善大使」に選ばれた吾妻小学校6年生の藤田瑞樹さんと増子香奈さんは2月2日から4日にかけて、沖縄県を訪問しました。3日には、うるま市の彩橋小学校を訪れ、猪苗代町の雪で作った雪だるまや吾妻小学校児童のメッセージを贈り、交流を深めました。

彩橋小学校の児童は、沖縄の伝統芸能である「エイサー」を披露し大使を歓迎。ビニールシートの上に雪が運ばれると、両校の児童は雪合戦などを行い、雪の感触を楽しみました。

雪だるま親善大使が沖縄を訪問



藤田瑞樹さん

沖縄の街並みには、南国の植物が植えてあり、春のように暖かかったです。

彩橋小学校では、雪合戦をして遊びました。給食にちんすこうが出たのでびっくりしましたが、とてもおいしかったです。

戦争の恐ろしさや沖縄の文化を学んだので、福島県の人たちに伝えたいです。



増子香奈さん

訪問した彩橋小学校では、福島県や猪苗代町の紹介をしました。猪苗代の雪をプレゼントするとみんな大はしゃぎで、「冷たい」と言いながらも一緒に雪玉を作って遊びました。

平和記念館では、沖縄の地上戦の歴史を学びました。もう絶対に戦争はしてはいけないと思いました。